

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
MCL盛岡ペットワールド専門学校		平成16年9月21日		龍澤 尚孝		〒 020-0034 (住所) 岩手県盛岡市盛岡駅前通10-16 (電話) 019-604-1151			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人龍澤学館		昭和38年3月14日		龍澤 尚孝		〒 020-0025 (住所) 岩手県盛岡市大沢川原3丁目4-1 (電話) 019-622-6357			
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度	
文化・教養	文化教養専門課程		ペットマスター科		平成26(2014)年度	-		平成26(2014)年度	
学科の目的	愛玩動物看護師の国家資格化の流れに伴い、飼い主に対する質の高い医療サービス全般が求められるようになってきている。合わせて動物病院でのトリミングサービスが普及している現状から、国家資格である愛玩動物看護師資格に則った専門知識・医療技術、医療機関を想定した実習・演習を行い、尚且つ動物業界で最もニーズの高い美容またはトレーニングについて学ぶことで、人間性・社会性を兼ね備えた即戦力となる人材の育成をする。								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	多様化する飼い主様からの要望に応えられるスペシャリストを目指すために愛玩動物看護師とトリマーのそれぞれの知識と技術を習得します。取得できる資格として、愛玩動物看護師、AAVサロントリマー検定、愛玩動物飼養管理士、損害保険募集人資格、学校認定ペットトリマーライセンス、学校認定接客教養ライセンスなどがある。								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,690 単位時間	1,200 単位時間	単位時間	1,490 単位時間	単位時間	
				単位	単位	単位	単位	単位	
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)				
45 人	38 人		0 人		0 %				
就職等の状況	■卒業者数(C)		12 人						
	■就職希望者数(D)		12 人						
	■就職者数(E)		12 人						
	■地元就職者数(F)		7 人						
	■就職率(E/D)		100 %						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		75 %						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)								
	■進学者数		0 人						
	■その他								
		(令和 5 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)							
		■主な就職先、業界等							
		(令和5年度卒業生)							
		いずみの動物クリニック 小川動物病院 あきたこまつ動物病院 ほんご動物病院 犬猫専門動物病院GALFAR ユーカリ動物病院							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL								
当該学科のホームページURL	https://wanco.ac.jp/course_master/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)								
	総授業時数				2,690 単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				420 単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数				0 単位時間				
	うち必修授業時数				2,690 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				420 単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				0 単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				350 単位時間				
	(B:単位数による算定)								
	総授業時数				単位				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位					
うち企業等と連携した演習の授業時数				単位					
うち必修授業時数				単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位					
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				3 人				
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				2 人				
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人				
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人				
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				2 人				
	計				7 人				
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				4 人				

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成を行うにあたり事業所等と連携する上では、本校の「人と動物のより良い関係づくり」という教育理念を理解いただき、次代を担う人材の育成を事業所等と学校が一緒に行っていくことに賛同いただける事業所等と連携することを基本方針とする。学生が、就業先の事業所等において即戦力となり、将来的には業界の発展に寄与できる力を身につけるために、事業所等から最新の動物業界の状況や今後の動向、また愛玩動物看護師実務・トリマー実務において新たに必要となる医療技術・知識等に関する情報を提供いただき、これを定期的に職員会に諮り、学生の実態も合わせて考慮しながら、より効果的な教育課程の編成を検討していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会の審議内容は、同年度内に、本校の職員、学校運営委員会、MCL事業本部での審議を図り、最終的には、理事長の承認を得て次年度のカリキュラムを決定することとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
佐々木 一弥	一般社団法人 岩手県獣医師会 会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	①
片山 泰章	岩手大学農学部付属動物病院 病院長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	②
辻本 恒徳	盛岡市動物公園 ZOOMO 園長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
穴戸 智	緑が丘動物病院 院長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	③
龍澤 尚孝	MCL盛岡ペットワールド専門学校 校長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
三上 祐太	MCL専門学校グループ 校長代理	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
市村 香織	MCL盛岡ペットワールド専門学校 教務課長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—
高坂 恵梨香	MCL盛岡ペットワールド専門学校 教務	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、3月)

(開催日時(実績))

令和5年度第1回 令和5年8月 2日 15:00～16:00

令和5年度第2回 令和6年3月15日 15:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

動物業界で愛玩動物看護師や美容トリマーとして働くうえで、現状および今後必要となるスキルに関するアドバイスをいただき、「動物看護実習Ⅰ」、「動物看護実習Ⅱ」、「動物臨床検査学実習Ⅰ」、「動物臨床検査学実習Ⅱ」、「トリミング学」の授業において実践スキルを高められるよう授業の内容に反映させ、今後必要となる内容まで含めて指導を行う。また、飼い主様とのやり取りの中で動物に関する技術のみならず、人間力・対応力の向上も必要となるため、接客能力・事務能力に関してアドバイスいただき、「ペットビジネス教養Ⅰ」、「ペットビジネス教養Ⅱ」、「ペットビジネス教養Ⅲ」の授業内容に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

より専門性の高い動物看護師を育成するため、学生本人の出身地域や就職希望地域も考慮に入れ、学校内での学びが現場でどのように生きてくるのかを経験させたいという本校の目的を理解して指導にあたっただけの事業所を選定。現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがい学ぶことを目的（基本方針）とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

動物分野における実践的な職業教育として動物関連企業や動物病院と契約を締結し、実践的な技術の習得やペットライフの質の向上による地域活性化を目的として連携している。企業および病院より直接的に学生に対して指導いただくとともにアンケートを実施し学修成果の評価について連携を行っている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
動物看護総合実習	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがい学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	あおば動物病院、あきたこまつ動物病院、アルフ動物病院、岩手大学動物病院、岩手総合動物病院、緑が丘動物病院を含む31事業所
ペットビジネス教養Ⅰ インターンシップ実習	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがい学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	あおば動物病院、あきたこまつ動物病院、アルフ動物病院、岩手大学動物病院、岩手総合動物病院、緑が丘動物病院を含む31事業所
ペットビジネス教養Ⅱ インターンシップ実習	現場で必要な接客マナーを身に付け、接客技術・衛生管理方法・危機管理方法を理解すると同時に仕事をする喜びややりがい学ぶことを目的とする。事前に学校内での座学で目的意識を高めたうえで、岩手県内・県外（おもに東北地区）の動物関連事業所において、実習を行う。	あおば動物病院、あきたこまつ動物病院、アルフ動物病院、岩手大学動物病院、岩手総合動物病院、緑が丘動物病院を含む31事業所
ペットビジネス教養Ⅰ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	岩手県スポーツ振興事業団□
ペットビジネス教養Ⅱ	地元の企業と連携し、ペット参加型イベントの企画・運営を行う。動物との共生をサポートする上での知識・技術を活かし、物事を作り上げる喜びや運営上の難しさを学ぶと同時に、将来必要になる行動力・判断力・気配り・臨機応変に対応する力を学ぶ。	岩手県スポーツ振興事業団□

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。		
(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 本校・本学科の教員として必要な知識・技術・技能や授業及び学生への指導力について計画的に教育し向上させることを目的に、校内・校外において実施される研修等への参加機会を積極的に設けることを「盛岡ペットワールド専門学校 研修等規程」により定め、組織的に取り組んでいく。		
(2)研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： 獣医学フォーラム	連携企業等：日本臨床獣医学フォーラム	
期間： 2024/3/3	対象：1年生	
内容	学術情報および最新の動物看護の知識を習得する	
研修名： アニマルファンシィアーズクラブ研修	連携企業等：アニマルファンシィアーズクラブ	
期間： 令和5年10月5日～6日	対象：2年生	
内容	犬のハンドリング、適切な管理について学ぶ	
研修名： インターペット研修	連携企業等：メッセフランクフルトジャパン株式会社	
期間： 令和5年3月31日～4月1日	対象：3年生	
内容	人とペットの豊かな暮らしフェア参加	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： 職員研修	連携企業等：岩泉 美和子 先生	
期間： 2023/9/2	対象：職員	
内容	アサーティブコミュニケーション	
研修名： 職員研修	連携企業等：岩泉 美和子 先生	
期間： 2023/10/7	対象：職員	
内容	傾聴	
研修名： 職員研修	連携企業等：岩泉 美和子 先生	
期間： 2023/11/11	対象：職員	
内容	コーチング法の基礎	

(3)研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名： 仙台研修	連携企業等： 動物管理センターアニパル仙台	
期間： 令和6年9月17日～18日	対象：1年生	
内容 仙台市にある動物系施設にて研修を実施する		
研修名： 馬っこパーク研修	連携企業等： 馬っこパークいわて	
期間： 2024/10/4	対象：2年生	
内容 馬との関係づくり、ハンドリングを学ぶ		
研修名： 日本臨床獣医学フォーラム	連携企業等： 日本臨床獣医学フォーラム	
期間： 令和6年9月21日～22日	対象：3年生	
内容 日本臨床獣医学フォーラム東北地区大会へ参加しセミナーを受講する		
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名： アンガーマネジメント	連携企業等： 岩泉 美和子 先生	
期間： 2024/10/5	対象：職員	
内容 感情とうまく付き合う方法を知る		
研修名： メンタルヘルスマネジメント	連携企業等： 岩泉 美和子 先生	
期間： 2024/11/9	対象：職員	
内容 自らのストレスに対処する方法を知る		
研修名： 傾聴	連携企業等： 岩泉 美和子 先生	
期間： 2024/12/14	対象：職員	
内容 相手に寄り添った聴き方を身につける		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として事業所等から参画いただいた委員を含む学校関係者評価委員会を設置。各委員の実務に関する知見を活かした視点で、教育目標や教育環境等についての「自己点検・評価」結果に基づく評価を実施し、その評価結果を学校運営会における改善事項の提案に反映したうえで学校運営会や職員会において検討する。これを定期的に行うことにより、「地域で必要とされる人材の育成」のための教育の質の向上、学生支援、卒後支援、社会活動等の充実とともに、健全かつ安定した学校運営を図ることを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 建学の精神・教育理念、教育目的・目標
(2)学校運営	7. 管理運営(各校)、8. 管理運営(法人)
(3)教育活動	2. 教育の内容
(4)学修成果	4. 教育目標の達成度と教育効果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	3. 教育の実施体制
(7)学生の受入れ募集	5. 学生支援
(8)財務	8. 管理運営(法人)
(9)法令等の遵守	8. 管理運営(法人)、9. 改革・改善
(10)社会貢献・地域貢献	6. 社会的活動
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会の意見については、次年度の教育活動その他の学校運営の改善等に活用することで具体的な検討を始めている。
外部委員から、4年制大学との差別化を図るべきとご意見をいただき、ペットマスター科では、大学との違いである、実践型授業で、郊外行事においてペットマスター科の学生が上級学生として、後輩の指導を実施する予定をしている。また、避難訓練についても、より実際に近い「動物の同行避難」を実施する体制を確立するために必要な事項を整理し、マニュアル化を進めている。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
佐々木 一弥	一般社団法人岩手県獣医師会 会長	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	企業等委員
小田島 舞	エルどうぶつクリニック 愛玩動物看護師	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生
宇津野 麻衣子	盛岡市動物公園 ZOOMO 飼育員	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
URL: https://mclnet.jp/information/
公表時期: 2024/7/31

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
教育の質の保証・向上のためにも、関係事業所等から本校の教育活動への理解、協力を得られるよう、教育活動その他の学校運営の状況等について、ホームページや学校案内等で広く情報を提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	募集要項「盛岡ペットワールド専門学校の概要」 学校案内「年間スケジュール」
(2)各学科等の教育	学校ホームページ「学科紹介」、学校案内「学科紹介」
(3)教職員	学校案内「職員紹介」
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校案内「実践授業紹介」「就職サポートシステム」
(5)様々な教育活動・教育環境	学校案内「校外活動」「学科紹介」 学校ホームページ「学生生活」
(6)学生の生活支援	募集要項「指定寮について」 学校案内「MCL一人暮らしガイドブック」
(7)学生納付金・修学支援	募集要項「学費サポート」
(8)学校の財務	グループホームページ「MCL専門学校グループとは 財務情報」
(9)学校評価	学校ホームページ「自己点検・学校関係者評価」
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://mclnet.jp/information/>

公表時期: 2024/7/31

授業科目等の概要

#REF!	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1通	120		○		△	○			○	
2	○			動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎を修得する。感染防御にかかわる免疫学の基礎についても学ぶ。	1通	30		○		△	○			○	
3	○			動物看護学概論	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1通	30		○		△	○			○	
4	○			公衆衛生学	環境および食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1通	60		○		△	○				○
5	○			人と動物の関係学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学および社会学的側面から、その実態、課題等を含め理解する。	1通	30		○		△	○			○	
6	○			愛玩動物学	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼養管理方法について理解する。	1通	60		○		△	○			○	
7	○			動物内科看護学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採決、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1通	60		○		△	○			○	
8	○			動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実地に必要な知識を修得する。	1通	20		○		△	○			○	
9	○			動物栄養学	5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾病ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法など臨床栄養学を習得する。	1通	30		○		△	○				○
10	○			動物医療コミュニケーション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について学ぶ。	1通	15		○		△	○			○	
12	○			動物外科看護実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	1通	30		△		○	○			○	○

13	○		動物看護総合 実習	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、 身につけた知識や技術を総合的に実践す る。	1 通	30		△		○		○		○	○
14	○		動物形態機能 学実習	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓 器模型、主要臓器の組織像などを通じて学 ぶ。	1 通	30		○		○	○			○	
15	○		動物愛護・適 正飼養実習	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや 飼い主とのコミュニケーションなど、愛 護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知 識の実践力を習得する。	1 通	30				○	○		○		
16	○		動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝 播様式や発病のメカニズムについて学び、 検査や診断、衛生管理、予防・治療法など 感染症対策の基礎を修得する。感染防御に かかわる免疫学の基礎についても学ぶ。	2 通	60		○		△	○			○	
17	○		動物看護関連 法規	動物看護に関する基本的な法規について学 び、社会における愛玩動物看護師の役割を 理解する。	2 通	15		○			○			○	
18	○		動物愛護・適 正飼養関連法 規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々 な法規について学び、人と動物の共生の在 り方等を理解する。	2 通	15		○			○		○		
19	○		動物内科看護 学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、 身体検査、採決、投薬、輸液、輸血、画像 診断に必要な検査、所見の記録等について 理解する。	2 通	30		○		△	○		○		
20	○		動物外科看護 学	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻 酔監視、手術誘補助、救急救命など、動物 外科 看護学で学んだ知識実践力を修得す る。	2 通	40		○		△	○		○		
21	○		動物栄養学	5大栄養素やその代謝などの基礎栄養学を 学ぶとともに、ライフステージや疾病ごと の違い、各種療法食の特色や給餌方法など 臨床栄養学を習得する。	2 通	30		○		△	○			○	
22	○		動物臨床検査 学	様々な臨床検査の原理や方法、意義につい て学び、検体や測定機器の正しい扱い方、 所見の記録方法を修得する。	2 通	30		○		△	○			○	
23	○		動物医療コ ミュニケー ション	日常健康管理に関わる飼い主教育や事前問 診、入院動物の容態説明、院内における他 のスタッフとのコミュニケーションの基礎 について学ぶ。	2 通	15		○		△	○		○		
24	○		動物内科看護 学実習	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補 助に必要な手技など、動物内科看護学で学 んだ知識の実践力を修得する。	2 通	30		△		○	○		○		
25	○		動物臨床検査 学実習	検体検査および生体検査に必要な手技や機 器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ 知識の実践力を修得する。	2 通	60		△		○	○			○	
26	○		動物外科看護 実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻 酔監視、手術の補助、救急救命など、動物 外科看護学で学んだ知識の実践力を修得す る。	2 通	30		△		○	○		○		

27	○		動物看護総合 実習	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、 身につけた知識や技術を総合的に実践す る。	2 通	60		△		○	○			○	○
28	○		動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用、臨床応用 および副作用について学び、動物の疾病の 診断や治療にどのように用いられるかを理 解する。	2 通	60		○		△	○			○	
29	○		動物繁殖学	繁殖にかかわる形態機能学を学び、妊娠・ 分娩と新生子管理、遺伝子の基礎知識を修 得する。	2 通	30		○		△	○			○	
30	○		生命倫理・動 物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉 について学ぶ。	2 通	30		○		△	○		○		
31	○		臨床動物看護 学総論	動物看護過程一連のプロセスを学び、事 例ごとと課題別に重きを置いた動物看護課 基 本的な考え方を修得する。	2 通	30		○		△	○		○		
32	○		臨床動物看護 学各論	様々な疾患病態生理を理解し、それによ って引き起こされる症状や必要な処置、 治療に 関する基本的な知識を学ぶ。各々 機能障害を持つ動物に対してと課題ような看 護を提供す べきか、評価と介入方法を習 得する。	2 通	30		○		△	○		○		
33	○		動物愛護・適 正飼養実習	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや 飼い主とのコミュニケーションなど、愛 護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知 識の実践力を習得する。	2 通	30				○	○		○		
34	○		動物臨床看護 学実習	動物看護過程や疾患別看護など、動物臨 床看護学で学んだ知識実践力を修得す る。	2 通	30		△		○	○		○		
35	○		適正飼養指導 論	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上 で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管 理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みに ついて理解する。	3 通	60		○			○		○		
36	○		動物生活環境 学	動物の行動様式を理解した上で、家庭等 における飼養環境の整備、ペット共生住宅、 ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、 保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及 び動物介在教育施設の整備・管理方法、 ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽 減するための方法や飼育マナーについて学 び、人とペットとの共生のための生活環境 のあり方を理解する。	3 通	30		○			○		○		
37	○		ペット関連産 業概論	ペット関連産業に従事する者としての職業 倫理・行動倫理を理解するとともに、ペッ ト飼養のニーズや形態、ペット関連産業を 構成する業種の概要、動物取扱業における 動物取扱責任者としての実践的知識や手法 を学ぶ。	3 通	30		○			○		○		
38	○		動物内科看護 学実習	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補 助に必要な手技など、動物内科看護学で学 んだ知識の実践力を修得する。	3 通	30		△		○	○		○		

39	○			動物外科看護実習	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	3通	30		△		○	○		○		
40	○			動物看護総合実習	動物病院で実際の動物看護業務を体験し、身につけた知識や技術を総合的に実践する。	3通	90		△		○	○			○	○
41	○			動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。	3通	30		○		△	○			○	
42	○			動物行動学	犬や猫として行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	3通	30		○		△	○		○		
43	○			比較動物学	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。	3通	60		○			○			○	
44	○			臨床動物看護学各論	様々な疾患・病態・生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々臓器機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入方法を習得する。	3通	90		○		△	○		○		
45	○			動物臨床看護学実習	動物看護過程や疾患別看護など、動物臨床看護学で学んだ知識・実践力を修得する。	3通	30		△		○	○		○		
46	○			トリミング学	グルーミング学Ⅰの応用として、実習を通して少ない人数で1頭のシャンプーを短時間でできる技術を学ぶ。ハサミやクリッパー等のトリミング技術の基礎を学ぶ。	3通	150		△		○	○			○	
47	○			ペットビジネス教養Ⅰ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。運営を通して動物看護師として重要な飼い主さんへの配慮を磨き、臨機応変に動ける力を習得する。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	1通	220		△		○	○	○	○	○	○
48	○			ペットビジネス教養Ⅱ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	2通	220		△		○	○	○	○	○	○
49	○			ペットビジネス教養Ⅲ	地元企業と連携をし、ペット参加型イベントの企画から準備・当日の運営までを経験する。1年次・2年次からの集大成として、より高度な接客対応・配慮・危機管理能力を磨く。同時に社会人教養・一般基礎知識も学び、幅広い分野で活躍できる必要要素を習得する。	3通	300		△		○	○	○	○	○	○
50																
合計					49 科目	2690 単位（単位時間）										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 出席日数が年間必要な日数の9割以上であり、評価された科目の最終成績評価がC以上であり、校長が教育課程を修了したと認めた者。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 必修科目は、学科在籍者全員が履修する。		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。